

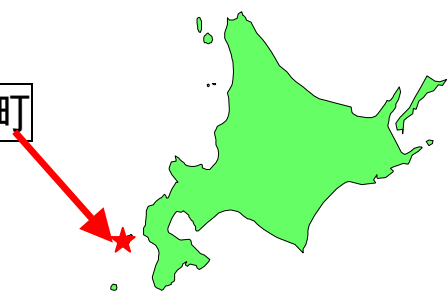
# にぎわい、

北海道版

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信

会員だより

奥尻町



～ 北海道 奥尻町 ～

むろ つ まつり

奥尻3大祭「室津祭」

7月17日(土)・18日(日)に青苗漁港特設会場で「室津祭」が開催されました。「室津祭」とは奥尻3大祭の1つで、奥尻島の南端・青苗岬から沖合約5kmの海上にある「室津島」に漁船パレードをし、航海の安全と大漁を祈願する祭りです。

毎年開催されるこの祭りでは、海にちなんだ多彩な協賛行事があり、ボートを漕ぐ速さを競う「ボート漕ぎ大会」、海上に並んだ発泡スチロールの上を渡って競争する「海上ハツポー渡り」や、観光客も参加した「ボート早引き競争」、「ビンゴ大会」、「活イカ釣り大会」、「イカの皮早むき大会」、袋に入ったアワビの重さを当てる「アワビでドン」などの多彩な参加型イベントで賑わいをみせました。

また、ブラスバンド演奏、アマチュアバンド演奏、歌謡ショーも行われ、2日間で延べ1,500人が会場を訪れました。



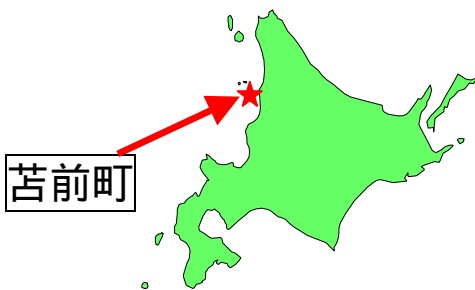
【航海の安全と大漁を祈願し、いざ「室津島」へ！】



【優勝賞金10万円を目指して…】



【中学生以上3人1チームによる「海上ハップ-渡り」】 【観光客から大歓声「活イカ釣り大会」】



～ 北海道 苫前町 ～  
**「第1回 北海道風車まつり」**  
～ とままえ風の花畑 ～

苫前町では、日本海沿岸地域特有の厄介者「強風」を生かし昭和49年から「町民凧あげ大会」を開催、平成5年からは「北海道凧あげ大会」として31年間続けています。また近年はこの強風を有効な資源とすべく、「まちづくり事業」の一環として「風力発電事業」に積極的に取り組んでいます。

自然豊かな苫前町の景観と調和した42基の「風車」は、観光振興による地域活性化のシンボルとしても大きな期待が寄せられていることから、去る8月1日（日）とままえ温泉「ふわっと」前広場にて「とままえ風の花畑」と題して「第1回北海道風車まつり」が開催されました。

町内外から訪れる観光客を迎えるため、町民1人1輪を合い言葉に「花風車」作りに2ヶ月前から取り組み、約5,000本の色とりどりの花風車がおもてなしの心いっぱい製作されました。

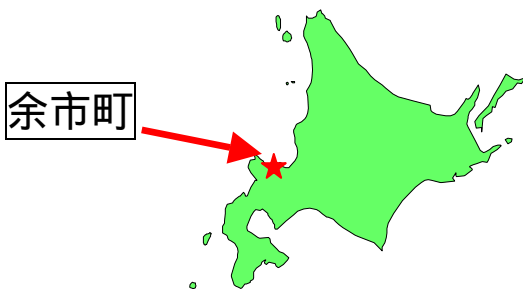
また、特設ステージでは地元グループによる「よさこい」や郷土芸能「くま獅子舞(少年団)」が披露されたほか、城之内早苗さんによる「歌謡ショー」や「デカレンジャーショー」の公開録音が行われ、幼児から高齢者まで1日を楽し



く満喫していました。そのほか会場内では、「バーベキューコーナー」が設けられ、ジンギスカンの煙が祭りを盛り上げ、苫前町の特産品などが低価販売され、あっという間に品切れになるなど、大いに盛り上がりました。



【特産品が低価販売され大盛況】



「正調ソ - ラン節」発祥の地  
「**北海ソーラン祭り**」  
～ 北海道 余市町 ～

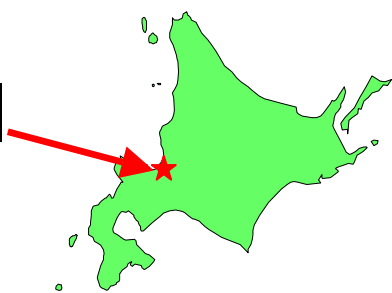
余市町は「正調ソーラン節」の発祥の地として江戸時代よりニシン漁撈で栄えた町です。

このニシン漁撈<sup>ぎょろう</sup>の仕事の拍手をとるために唄われた正調ソーラン沖揚げ音頭は、北海の怒涛と闘う漁夫の汗からにじみ出た労働歌で、寒風と波しぶき、そこに踊る銀鱗、北国に生きる者のみが知る独特の力強さをもって現在に唄い継がれています。

この余市町で北海道の文化遺産「北海道民謡ソーラン節」の継承普及を図ることを目的に、7月3日(土)・4日(日)まちを挙げてのビックイベント「北海ソ - ラン祭り」が開催されました。浴衣姿の町民がソ - ラン踊りで「パレ - ド」するほか、「名産品フェスティバル」や「納涼花火大会」など多彩な催しが2日間にわたって実施され、ソ - ラン節発祥の地にふさわしい鼓動熱きイベントが行われ、多くの観光客でにぎわいました。



石狩市



～ 北海道 石狩市 ～  
**「海の祭典 in いしかり」**  
 ～ ポロス・バザール in 新港 2004 ～

北海道も暑さを感じ始め、夏の到来を迎えた7月19日(月)、今回で12回目と地域の催しとして、すっかり定着した「海の祭典 in いしかり～ポロス・バザール in 新港 2004」が今年も石狩湾新港花畔ふ頭特設会場で開催されました。

「ポロス」とはギリシア人が昔、港のことを呼んだもので、「ポート」の語源だそうです。「バザール」とは交流の場。港は人や物、情報が行き来し、異なる文化が交流するところであることから、石狩湾新港から一つの文化を生み出すための交流の場を提供するという意味で「ポロス・バザール」と名付けられ、普段、あまり港を訪れることのない人たちに、港に親んでもらうため、平成5年から毎年開かれています。

実行委員会の鈴木会長の開幕宣言のあと、勇壮な「石狩太鼓」が披露され、会場内では70店ものフリーマーケットがオープンし、各店で売り手と買い手が真剣な駆け引きの火花を散らしていました。ちなみに本港の港湾管理者である石狩湾新港管理組合も出店し、各人が自宅の押入の奥から引っ張り出した「商品」を売りまくり、売上金は社会福祉協議会へ全額寄付させて頂きました。



ステージではFMラジオ局のパーソナリティーのお姉さんのテンポのよいトークの中、「フリースロー」や「ビンゴ大会」などの各種ゲーム、汗だらけなのに軽快な「ジャグリング」や圧巻の「YOSAKOI ソーラン」のステージなどが次々と繰り広げられ、観客の拍手や驚嘆の声、笑いを誘っていました。



会場を囲んでいた軽飲食コーナーや似顔絵などは、人の波に埋もれる程の大繁盛！会場の片隅で、おばちゃんが野菜売りをしていたら、いつの間にか、事務局のメンバーがプロ顔負けの売り子になっているなど、活気に満ちあふれていました。

また、港内では当港の曳船「ひうら丸」によるクルージングが実施され、乗船した人たちは海から港を眺めるといふ滅多にできない貴重な体験を楽しんでいました。

あっという間の8時間が過ぎ、約1万人が来場した祭りは、晴天・盛況のうちに終わり、多くの人に海、港への関心・理解を深めて頂けたのではと感じています。

踊りに全身全霊を捧げ疲れ切った笑顔、両手に商品を抱えた家族の笑顔、商品を売り切った(?)笑顔・・・それぞれの思い出を胸に抱き帰宅の途につく姿を見て、実行に携わった管理組合職員にとっても、心地よい気だるさが残った一日となりました。



【潮風が気持ちいい！ひうら丸による港内クルージング】

**編集・問い合わせ先**

**日本海にぎわい・交流海道ネットワーク 事務局**

**国土交通省 北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課 調査係内**

**Tel : 011-709-2311 (内線5617)**

**Fax : 011-709-2147**

**E-Mail : kurokawa-s22aa@hkd.mlit.go.jp**